

道路の修復について

田村 俊 議員

問 市道の舗装や構造物の維持管理について、どのような箇所を重点的に道路修復しているのですか。また舗装面が経年劣化している道路について、下水道や水道管埋設工事にあわせ周辺道路の舗装面も復旧工事し、早期に保全処置を施すことはできないかお聞かせ下さい。

答 市民の方々が安心・安全に通行できるよう道路パトロールを実施しています。特に交通量が多い狭隘な道路や交差点付近は舗装の劣化が早いため、計画的に補修しています。また、道路掘削工事の際には、費用対効果や補修計画などよく検討し、下水道や水道局と連携し状況に応じた美しい道路の修復を行ってまいります。

・他の質問項目：災害の発生と対応について

路上喫煙防止について

西村 千鶴子 議員

問 大和郡山市歩行喫煙等の防止に関する条例が本年4月に施行となりましたが、その後の市内の状況と禁止区域の指定など、今後の予定をお聞きます。

答 条例の施行により、道路等公共の場所での歩行喫煙をしないよう努めなければならないこととなりましたが、まだ歩行喫煙者やたばこのポイ捨てが見られます。今後、審議会でご意見をいただき、禁止区域指定に向けて検討を進めていきます。予定ですが、今年度中に審議会において禁止区域の場所・時間帯等を決定して周知活動を行い、来年度から実施できればと考えています。

・他の質問項目：人口増を目指す子育て支援の総合化について、男女共同参画計画について

幼稚園の冷房設備について

大垣 良夫 議員

問 平成28年に中学校全教室へのエアコン設置が市議会で決議され、本年2学期より供用開始された。また本年8月には、小学校全教室へ早期にエアコンを設置する決議も市議会で可決されたところである。近年の地球温暖化に伴う異常気象の中、小学校、中学校と同様の教育施設であり、一番体力のない幼児が日々過ごす幼稚園各教室へのエアコン設置について、その設置時期について聞く。

答 今年度の猛暑を踏まえ、幼稚園のエアコン設置は幼児の教育環境における重要な課題と認識しております。国や奈良県による財政支援の動向も注視しながら、まず決議いただきました小学校へ設置いたし、続いて幼稚園へと順次取り組んでまいりたいと考えております。

高齢者の外出支援施策について

出口 真一 議員

問 高齢化が進展する中で、高齢者の外出支援としてタクシー助成制度を行う自治体が増えている。コミュニティバスは利用者が限定され、またルート増設も難しいため、独自の高齢者が利用しやすいタクシーの助成制度を構築するのが良いと思いますがお考えは？

答 タクシーの助成制度については、障害者施策の助成はありますが、高齢者への助成はしておりません。高齢者にとって、使いやすい公共交通機関の実現に向けて取り組み、持続可能性を確保していく必要があります。国においては、高齢者が安心して移動できる環境整備を考える検討会において議論されており、これらの動向を踏まえ、高齢者の外出支援を考えてまいります。

公共交通について

尾口 五三 議員

問 大和郡山市の公共交通について、市の現状認識と今後の方針、交通弱者外出支援のお考えを聞いて、コミュニティバスの運行拡大やデマンドタクシーの実施を要望しました。

答 交通弱者の外出支援については、自家用車の代替手段の整備、高齢者が行きたくなる場所の提供、人的ネットワークの構築が特に重要であると認識しており、市内に既に整備されている公共交通網の恒久的な維持を市の最重要課題と考えると共に国土交通省において開催されている「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」等についても注視していきたいと考えます。

・他の質問項目：国保の県単位化について

保育行政について

北野 伊津子 議員

問 子ども子育て支援事業計画について、量の見込みと実際の数が大きく差がある状況にある。主に、保育園と学童保育のニーズに対して量の確保が追いついていない。平成32年度の事業計画見直しでは、しっかりと量の確保をしていただきたい。

答 平成32年度から平成36年度までの5ヶ年の「次期子ども子育て支援事業計画」の策定については平成31年度に行う予定ですが、量の見込みとその確保に大きく差のある事業については国からの指針や今後実施予定であるアンケート調査結果等を踏まえ、「子ども・子育て会議」で諮り、計画値を適正に設定してまいります。

・他の質問項目：福祉医療制度の拡充について